

古はがきのおひな様

古はがきを材料としてのおひな様も数々出来る。大體お雛様の胴の形を圓錐型、立方型、丸型などに古はがきで作つて、それに白い畫用紙などで顔をつけるとよい。型はいつれにしても出来るだけ簡單なものがよい。

古端書を臺にして一部分千代紙などあしらつて作ると美しいお雛様が出る。

古はがきを材料としてお雛様を作る場合は端書の文字が見えない様にクレヨンで色濃くぬつて使ふ事である。

封筒の袋雛

古封筒を利用して袋雛を作ることも出来る。古封筒を縦を二つ切りにして、上の部分も底を糊づけにして、二つの袋にし、模造紙を細く切つて縞模様にしたたり、その他の模様を切りぬいて貼りつけて、お雛様の胴にする。顔は畫用紙で別に作つて袋の内にしこみ頭の部分になるところは、ひだをとつて紐でくくる様にする。

お雛様の製作は現在、内裏をはじめ屏風、臺、櫻橋、お供へなど一揃にとのへるのには製作の材料としては數々あつて一ヶ月二ヶ月分の手技の材料は豊富すぎるほどにあるのである。たゞ幼児の程度、材料の状態、これに費すことの出来る時間などによつて各その持場持場によつて考へて作るのであるが要するにお雛様の製作といふものは雛祭りを幼児たちに喜ばせ楽しませるといふ事が第一の目的とするのであるから製作に無理のない様に保母の方で心掛けなければならぬ。製作そのものゝみを考へて幼児た

ちに多くの負擔をかけすぎて、かへつてその製作をいとふ様なことになつては折角手技のよい材料もだいなしになつてしまふのであるから注意しなければならぬことである。

たゞこゝに心すべきは作られる雛は形や色は出来るだけ單純なものであつても出来上つたものが上品な趣のあるものを選ぶといふ事についてはこれを指導する先生がその趣味の標準を高くもちたいものである。

誘導保育

菊池ふじの

お花屋さん 長い間寒さに閉ぢ込められて、身も心も固くなつてしまつてゐた身に、春の偲びよつて來た氣配を感じた時の喜びは譬へ様もない程である。殊に、子を持つ者に取つてこの喜びは更に大きい。子供は、昔から云はれてゐるやうに、確に風の子であるに違ひない。けれども、あの立ちのぼるかげらふの中に、萌え初める若芽の中に見る子供等の影は又一入に伸びやかである。嬉しい春、待ちこがれる春、早く來い。

扱つて三月にお花屋さんの主題はいとも相應はしい。それに、四月、始めて家を離れて入園して來る年少組の御子さん達への贈り物として、今から花籠を作つておくことは手廻しのよい例として賞められていゝ。正に一石二鳥といふべきもの。何故なら四月新學期早々これだけのものを製作する暇はとて無しいし、新入園児には入園の日から「おみやげ」は上げたいしするからである。

花籠もお花も、古葉書利用が、紙の堅さと言ひ大きさと言ひ至極適當であるが、古葉書とばかり限つたものではない。廣告に來た厚紙を適當の大きさに切つてもよし、身邊にある厚紙のあれこれを利用することもよい。

先づ花籠であるが、古葉書の一面を、字が見えなくなるまでに、一色でもよし、配合のいゝ二色でも三色でもよい、塗りつぶす。それからそれを横に二ツ折りにして輪の方から八ミリ位の幅に切り込む。輪になつてゐない一方は一センチぐらゐ切らずにおく。これを丸く糊又は絲にてつなぎ合せて花籠にする。

お花は、やはり古葉書に、何でも好きな、そして出来るだけ多くの種類のお花を描かせ、濃く採色させ、切り抜かせる。この時は、お花だけでなく、葉も莖も根ぐらゐまで少々長さを取つて描かせることが必要である。これを、前に作つてある花籠の内側に、お花が外を向くやうに貼る。或は、花籠の二枚合つてゐるその中に挿し込んで、糊づけにしてもよい。

一方、お店は、おまゝと道具の棚とか又はお机を然るべく並べてお店らしく作り置き、出來た花籠を次々にお花屋さんらしく並べる。花籠には、葉書大のものばかりでなく、種々の大きさのものがあるとい層面白い。一人の子供に一つといふことではお店が淋し過ぎるから、出来るだけ澤山作るやうにし度い。「お店に飾つて、私達も買ひませうし、又新らしくは入つて來る小さい組の方達にも賣つて上げませう」と言へば、子供達はどんなにか喜んで、澤山作るに違ひない。

年度末の休暇には大切に保存して置いて、やがて四月の新學期

になつたら、自分達も買ひし、小さい組へも賣つて上げた。幼稚園入園の印象として、どんなに嬉しいものが心の底に印象づけられるであらう。

おみやげは、このお花屋さんから紙のお金を出して自分が買つた花籠を始めとして、こま、風車、人形など、數へ上げれば嬉しいものばかり。これがうまくいくと、幼稚園に惹きつけ得ることは満點であらう。

期待効果は、年少者への心、手技、觀察、整理、といふやうなことが擧げられる。

繼續作業時間は、學年末の三週間位。

以上で「月々の保育」一ケ年を終へ、初めての計畫を了する。夫々の受持に於て、夫々の感想があることであらう。この誘導保育に於ては、各地保育會や研究會よりの報告を通覽するに、益々盛に實行せられんとしてゐることが認めらる。たゞ、幼児數が餘りにも多い爲、保育室の手狭な爲め、或は手不足の爲などにて思ふやうに實行出來ないといふ憾みをよく聞くのであるが、そこをうまく考へて手狭なりと、手不足なりと實施せられんことを念願して擧筆する。